

東京都スポーツ推進総合計画1年目の実施状況と 今後のスポーツ振興について

1. 東京都スポーツ推進総合計画について

- 昨年3月に「東京都スポーツ推進総合計画」を改定
計画期間：令和7(2025)年度から令和12(2030)年度まで



□ 計画改定のポイント

1. 初めて、スポーツを通じた幸福感の向上を達成指標化

- 都民のスポーツ実施率（量）に加え、スポーツを通じた幸福感（質）を重視
- 都民のウェルビーイング向上を実現
- スポーツを通じて幸福感を感じている都民の割合
2024年度：70.0% ➔ 2035年度：80%

2. 「応援する」もスポーツの参画方法に位置付け

- スポーツの参画方法「する」「みる」「支える」の入り口となる参画方法として「応援する」を位置付け



3. DXにより政策効果を飛躍的に発展

- 各政策にデジタル技術を活用
- 障害者や高齢者の健康増進等に向けて、eスポーツを活用
(ねんりんピックの東京開催を契機としたシニアスポーツ振興にも活用)



2. 東京都スポーツ推進総合計画の体系

基本理念	誰もがスポーツを楽しむ東京を実現し、 一人ひとりのウェルビーイングを高め、社会を変革する															
将来のビジョン	ビジョンⅠ 子供の頃から好きなスポーツと出会い、楽しみ、成長し、健康・幸福に生きている	ビジョンⅡ スポーツを通じた新たなつながりと相互理解が、技術の進展に伴い生み出されている	ビジョンⅢ 世界中のアスリートや観客でにぎわい、世界で最も魅力的で選ばれる都市に	ビジョンⅣ 安全・安心・信頼の下、いつまでもスポーツを楽しめる社会が実現												
4つの政策の柱	健康・幸福 スポーツで輝く	共生社会 スポーツでつながる	地域・経済活性化 スポーツでにぎわう	スポーツの持続可能性 スポーツを支える												
	施策① スポーツに触れる「はじめの一步」を後押し	施策① パラスポーツを楽しむ・パラスポーツで輝く	施策① 都内各地でスポーツイベントを開催し、都市に活力をプラス	施策① 様々な価値を創出するスポーツ環境の整備・運営や、環境に配慮した施設・大会運営												
	施策② ライフステージに応じたスポーツを推進	施策② バリアフリー化やユニバーサルコミュニケーション技術の社会実装を促進	施策② 住み慣れた地域でのスポーツをサポート	施策② 多様な主体と連携し、スポーツに関わる人材の裾野を広げる・磨く												
	施策③ 東京にゆかりのあるアスリートが躍動	施策③ 多様な人々がスポーツでつながる、スポーツとつながる	施策③ スポーツの魅力を発信し、スポーツを通じて感動を味わう	施策③ 安全・安心なスポーツ、信頼されるスポーツ大会の実現												
重点政策テーマ	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">Project 0</td> <td>スポーツの力を高める「スポーツDXプロジェクト」</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #90ee90;">Project 1</td> <td>スポーツとともに育つ「チルドレン・スポーツ・プロジェクト」</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ff8c00;">Project 2</td> <td>多様性があふれる「スポーツ・ダイバーシティ・プロジェクト」</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ffcc00;">Project 3</td> <td>スポーツの力で世界をリードする「TOKYOの魅力向上プロジェクト」</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #0000ff;">Project 4</td> <td>スポーツを楽しむ環境を実現する「スポーツFACILITIESプロジェクト」</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #0000ff;">Project 5</td> <td>スポーツを支える仕組みを創る「支える担い手確保プロジェクト」</td> </tr> </table>				Project 0	スポーツの力を高める「 スポーツDXプロジェクト 」	Project 1	スポーツとともに育つ「 チルドレン・スポーツ・プロジェクト 」	Project 2	多様性があふれる「 スポーツ・ダイバーシティ・プロジェクト 」	Project 3	スポーツの力で世界をリードする「 TOKYOの魅力向上プロジェクト 」	Project 4	スポーツを楽しむ環境を実現する「 スポーツFACILITIESプロジェクト 」	Project 5	スポーツを支える仕組みを創る「 支える担い手確保プロジェクト 」
Project 0	スポーツの力を高める「 スポーツDXプロジェクト 」															
Project 1	スポーツとともに育つ「 チルドレン・スポーツ・プロジェクト 」															
Project 2	多様性があふれる「 スポーツ・ダイバーシティ・プロジェクト 」															
Project 3	スポーツの力で世界をリードする「 TOKYOの魅力向上プロジェクト 」															
Project 4	スポーツを楽しむ環境を実現する「 スポーツFACILITIESプロジェクト 」															
Project 5	スポーツを支える仕組みを創る「 支える担い手確保プロジェクト 」															

3. 達成指標一覧

		2024年度 (実績)	2025年度 (実績)	2030年度 (目標)	2035年度 (目標)
1 政策の柱 健康・幸福 スポーツで輝く	指標① スポーツを通じて幸福感を感じている都民の割合	70.0%	72.7% ↑	75%	80%
	指標② 都民のスポーツ実施率	63.3%	67.5% ↑	70%	70%以上
	指標③ スポーツをすることを「好き」「やや好き」と感じる中学2年生の割合	男子90.4% 女子77.9%	集計中※1	男子90%以上 女子80%以上	男子90%以上 女子85%
	指標④ 東京都スポーツ推進企業認定企業数	583社	656社 ↑	1,000社	1,300社
2 政策の柱 共生社会 スポーツでつながる	指標① 障害のある都民のスポーツ実施率	46.6%	45.0% ↓	50%	50%以上
	指標② パラスポーツに関心がある都民の割合	42.7%	39.2% ↓	80%	80%以上
	指標③ スポーツを通じて生きがいを感じる高齢者の割合	86.7%	90.0% ↑	90%	90%以上
	指標④ 20～40歳代女性（都民）のスポーツ実施率	56.3%	61.1% ↑	65%	65%以上
3 政策の柱 地域・経済活性化 スポーツでにぎわう	指標① 1年間にスポーツを直接観戦した都民の割合	30.0%	32.7% ↑	50%	50%以上
	指標② 1年間にスポーツイベント、大会に参加したことがある都民の割合	21.0%	21.1% ↑	30%	35%
	指標③ 応援するスポーツチームや選手がいる都民の割合	40.6%	39.5% ↓	50%	60%
4 政策の柱 スポーツの持続可能性 スポーツを支える	指標① 都立スポーツ施設が果たしている役割に「満足」と答えた都民の割合	60.7%	66.6% ↑	65%	70%
	指標② 1年間にスポーツを支える活動を行った都民の割合	17.3%	14.8% ↓	20%	20%以上
	指標③ スポーツ指導者数	25,791人	集計中※2	32,100人	38,200人

※1 東京都教育委員会が公表する「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査 報告書」を基に実績を把握

※2 指導者数は、(公財)日本スポーツ協会、(公財)日本レクリエーション協会及び(公財)日本パラスポーツ協会が公認するスポーツ指導者数を合算した人数であり、各団体が公表する指導者数を合算し、人数を把握

4. 現行計画で掲げた各指標の推移、都の現行の主な取組と今後の施策について

政策の柱1…健康・幸福
スポーツで輝く

指標の達成状況

スポーツを通じて幸福感を感じている都民の割合



都民のスポーツ実施率



指標の達成状況

東京都スポーツ推進認定企業数



都の主な取組

<令和7年度の主な取組>

- ✓ 従業員のスポーツ活動の促進や、スポーツ分野での社会貢献活動を実施している企業等を認定し、特に先進的な取組等を行っている企業等を表彰
- ✓ 推進企業の取組を広く発信するとともに、インストラクターなどの派遣により推進企業を支援



▲昼休憩時の「ランタイムヨガ」の開催（推進企業の取組の紹介）

<令和8年度の主な取組>

- ✓ 引き続き、認定企業数の拡大を図り、スポーツに取り組む企業等を後押し

- 上記のほか、働き盛り世代向けの取組として、都内企業を対象に体力測定等を実施。測定結果から自身の体の状況を把握し、運動習慣の確立を促進。
- 来年度は、年代や体力に適した体力測定メニューを検討 **拡**

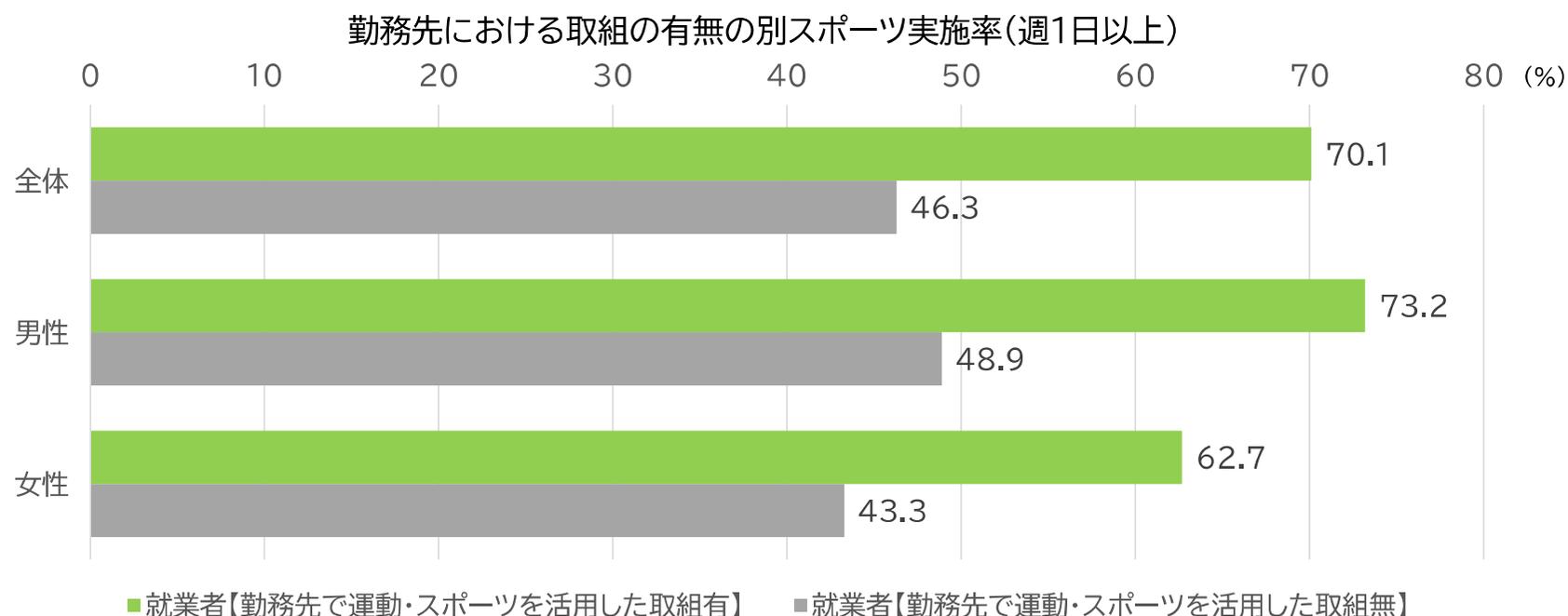


▲企業における体力測定（都内企業を対象とした体力測定の様子）

令和8年度拡充事業：**拡**

参考 1. 勤務先における取組の有無別のスポーツ実施率（週1日以上）について

スポーツ庁の令和6年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」によると、勤務先で「運動・スポーツを活用した取組」がなされているかどうかで週1日以上スポーツ実施率に大きな差があり、取組がなされている場合の実施率は70.1%と高い結果となっている。



※勤務先における「運動・スポーツを活用した取組」とは、「運動・スポーツを推進する部門や担当を設置する等の人的環境整備」、「参加するスポーツ用品やアイテム等の提供」、「スポーツジムの法人契約・優待利用や実施にかかる費用の補助等」、「運動・スポーツ活動等の目標を達成した人への賞品提供等」、「運動・スポーツ関係のイベントやプログラムの実施、運動・スポーツを促進させる環境の整備等」、「運動・スポーツ実施に関わる怪我や事故の補償等」、「クラブ・サークル活動の実施」、「スポーツチームや選手等を活用した事業活動、広告宣伝(スポンサー・ネーミングライツ)等」など

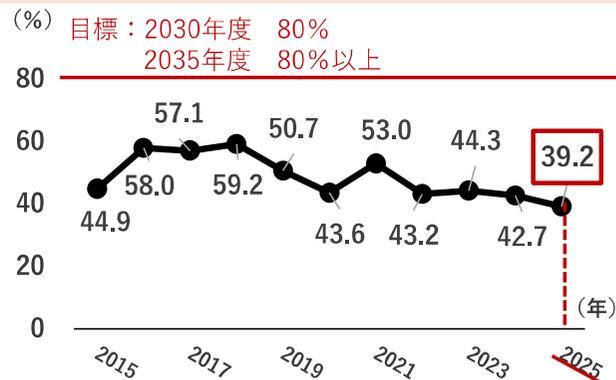
4. 現行計画で掲げた各指標の推移、都の現行の主な取組と今後の施策について

指標の達成状況

障害のある都民のスポーツ実施率



パラスポーツに関心のある都民の割合



主な都の取組

<令和7年度の主な取組>

- ✓ 都立特別支援学校の体育施設を貸出、パラスポーツなどの体験教室の実施
- ✓ ウォーキングへのニーズに着目し、これまでバリアフリーに配慮して整備したウォーキングコースを活用したキャンペーンを実施



▲体育施設におけるパラスポーツの体験教室

<令和8年度の主な取組>

- ✓ 区市町村のスポーツ施設のユニバーサルデザイン化の支援の拡充 **拡**
- ✓ 都立特別支援学校にパラスポーツ特有の用具を試行的に整備するとともに、体験教室の運営協力団体に対して、競技用具等の購入費を支援 **拡**
- ✓ ウェアラブル端末を使った参集型のウォーキングイベントを開催し、視覚障害のある方を含め誰もが一緒にウォーキングを楽しめる体験を提供 **拡**

<令和7年度の主な取組>

- ✓ パラスポーツへの関心喚起、応援気運の醸成に向け、パラスポーツの体験・観戦機会の提供
- ✓ デフリンピックの開催時期にあわせて、デフスポーツも含めたパラスポーツ体験イベントを実施
- ✓ 都内におけるパラスポーツ国際大会の開催支援



▲デフリンピックにあわせて開催した、パラスポーツの体験イベント

<令和8年度の主な取組>

- ✓ 東京2020パラリンピック開催の5周年という節目に、大会がもたらしたレガシーやスポーツの力を知ってもらう記念イベントを実施 **拡**
- ✓ パラアスリートに密着したドキュメンタリーを制作・放映 **新**

4. 現行計画で掲げた各指標の推移、都の現行の主な取組と今後の施策について

政策の柱2…共生社会
スポーツでつながる

指標の達成状況

スポーツを通じて生きがいを感じる 高齢者の割合



20～40歳代女性（都民）の スポーツ実施率



主な都の取組

<令和7年度の主な取組>

- ✓ シニア健康スポーツフェスティバルの開催を始め、各地域で実施する60歳以上を対象としたスポーツ体験会や講習会等の開催を支援
- ✓ ねんりんピックへの選手団の派遣
- ✓ シニア・コミュニティ交流大会の種目に新たにeスポーツを追加



▲シニア健康スポーツフェスティバル

<令和8年度の主な取組>

- ✓ 世界に誇る長寿（Chōju）社会の実現を目指し、令和10年に開催されるねんりんピック東京大会に向け、新たな健康長寿社会モデルの構築につながる、大会の気運を醸成 **新**
- ✓ ねんりんピックと連携し、シニア層に対する体力測定のPRを強化することで、体力測定を通じたシニア層の運動サイクルの創出を後押し **拡**

<令和7年度の主な取組>

- ✓ これまでに作成した女性アスリートの「コンディショニングガイド」の冊子を配布
- ✓ 女性アスリートのコンディショニングに関する、指導者向け研修会の開催



▲女性アスリートのコンディショニングガイド

<令和8年度の主な取組>

- ✓ 世界陸上・デフリンピックの1周年事業として、両大会のレガシーであるKK線（旧東京高速道路）において、女性も参加しやすいランイベントなどを開催 **新**
- ✓ スポーツに取り組む女性向けのコンディショニング情報を発信するサイトの開設、情報発信、動画の制作 **新**
- ✓ 地域スポーツクラブを通じた、指導者資格等の取得支援について、取得者に女性がいる場合、クラブの補助上限額を引き上げ **拡**

4. 現行計画で掲げた各指標の推移、都の現行の主な取組と今後の施策について

政策の柱3…地域・経済活性化
スポーツでにぎわう

指標の達成状況

1年間にスポーツを直接観戦した都民の割合



1年間にスポーツイベント、大会に参加したことがある都民の割合



主な都の取組

<令和7年度の主な取組>

- ✓ 臨場感あふれる会場での観戦を通じて、子供たちにスポーツの楽しさや夢と希望を届けるため、都内の**子供たちを世界陸上、デフリンピックへ招待**
- ✓ 東京での**国際スポーツ大会の開催**に向け、剣道・カヌーの大会誘致や、テニスをはじめとした5つの大会開催を支援し、観戦機会を提供



▲子供たちを世界陸上へ招待

<令和8年度の主な取組>

- ✓ 愛知・名古屋2026アジア競技大会のうち東京で開催される競技について、世界陸上・デフリンピックでも取り組んだ**UC技術の活用**や**子供の観戦招待**等を実施 **新**
- ✓ **国際大会の誘致・開催支援**については、大会の開催規模や特性に応じて支援上限額や補助率を見直すほか、UC技術の活用や競技中継に対して支援額の加算を行うなど、**戦略的な支援制度を再構築** **拡**

<令和7年度の主な取組>

- ✓ 誰でも気軽に参加できる**参加型スポーツイベント**や、**ランニングイベント**の開催を支援
- ✓ 障害の有無に関わらず参加できる**パラスポーツ大会**の開催、**パラスポーツの体験機会**の提供
- ✓ **世界陸上・デフリンピック期間中**にスポーツや大会を身近に感じられる**イベント**等の実施

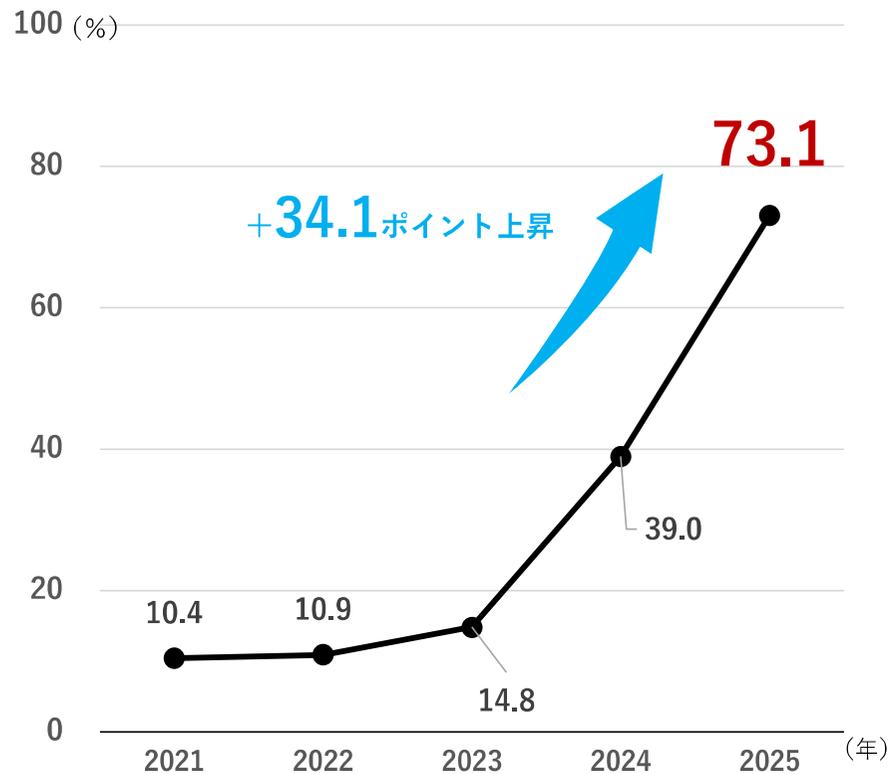


▲世界陸上開催に向け気運を盛り上げるために、KK線においてランニングイベントを開催

<令和8年度の主な取組>

- ✓ **レインボーブリッジ・東京ゲートブリッジ**を自転車で走り抜ける「**レインボーライド**」をはじめとした、**様々なスポーツイベント**を継続して展開
- ✓ 東京マラソンでは、**第20回記念大会**の機を捉えた、誰もが東京マラソンを楽しめる**イベント**等を実施 **新**

参考 2. デフリンピックの認知度について



東京都は、都民のスポーツ活動の実態を把握し、今後のスポーツ振興施策の検討に活用するため、毎年、調査を実施しています。今回の調査において、デフリンピックを「知っている、見たり聞いたりしたことがある」都民の割合は73.1%となり、前回の39.0%から大幅に上昇しました。

<諸外国のデフリンピック認知度>

- ・米国 39.8%
- ・韓国 31.0%
- ・ドイツ 21.6%
- ・ブラジル 38.0%
- ・イギリス 28.4%
- ・フランス 18.6%

出典：「東京2020パラリンピック競技大会後における国内外一般社会でのパラリンピックに関する認知と関心 第3回調査結果報告」(2021年10月、日本財団パラスポーツサポートセンターパラリンピック研究会・青山学院大学地球社会共生学部小堀真研究室共同研究)

4. 現行計画で掲げた各指標の推移、都の現行の主な取組と今後の施策について

政策の柱3…地域・経済活性化
スポーツでにぎわす

指標の達成状況

応援するスポーツチームや選手がいる都民の割合



主な都の取組

<令和7年度の主な取組>

- ✓ 主催者と連携を図りながらプロスポーツチームが主催する試合や大規模スポーツ大会等に都民を招待し、スポーツを直接「みる」「応援する」機会を提供
- ✓ パラスポーツの国際大会等を会場で一体となって観戦・応援する機会を提供



▲デフリンピック競技会場での応援

<令和8年度の主な取組>

- ✓ 競技やチームを応援したくなるような、プロスポーツチーム等と連携した、バックヤードツアー付き観戦プログラムの実施など **新**
- ✓ パラスポーツの観戦機会の提供にあたって、障害の有無に関わらず誰もが一緒に楽しめるように、新たに、UC機器やAIデバイスを活用 **拡**

政策の柱4…スポーツの持続可能性
スポーツを支える

指標の達成状況

都立スポーツ施設が果たしている役割に「満足」と答えた都民の割合



主な都の取組

<令和7年度の主な取組>

- ✓ 氷上スポーツの競技力向上及び都民が気楽に利用できる施設として、東京辰巳アイスアリーナを開業
- ✓ デフリンピック競技会場へフラッシュライトなどの情報保障設備を整備（今後他施設へも展開）
- ✓ 都立スポーツ施設の魅力を広く発信するため、スポーツ利用以外の方も参加できる謎解きイベントを開催



▲東京辰巳アイスアリーナの開業

<令和8年度の主な取組>

- ✓ 子育て世代のスポーツ参画を推進するため、授乳室のない施設への授乳ブースの設置や暑さ対策としての日よけ屋根設置に向けた設計など施設の利便性を向上 **新**
- ✓ 各施設の多目的な利用を推進するため、ロケ・撮影事業者等と施設をマッチングさせるロケーションサービス等を展開 **拡**

4. 現行計画で掲げた各指標の推移、都の現行の主な取組と今後の施策について

政策の柱4…スポーツの持続可能性
スポーツを支える

指標の達成状況

1年間にスポーツを支える活動を行った都民の割合



主な都の取組

<令和7年度の主な取組>

- ✓ 東京2020大会後もボランティア気運を維持・継続するため、ボランティア活動の機会の提供とともに、広くボランティア募集を情報発信
- ✓ 世界陸上・デフリンピックにおいて、東京ボランティアレガシーネットワークなどを活用してボランティアの募集を行い、大会運営に係る活動を行う機会を提供



▲世界陸上におけるボランティア活動

<令和8年度の主な取組>

- ✓ 都のスポーツ文化事業団と連携し、スポーツボランティア向けの研修会を開催、スポーツ推進員等の地域スポーツを支える人材となるきっかけを提供 **新**
- ✓ 女性向けにスポーツチーム訪問ツアーを実施し、スポーツを「支えて」いるスタッフの仕事内容を体験し、仕事の魅力・醍醐味を学ぶ機会を提供 **新**

令和8年度新規事業：**新**

ご意見をいただきたい事項

計画1年目における、指標の推移や都の取組状況及び今後の施策を踏まえ、**2030年度までに、各指標を達成するために、今後の都のスポーツ施策の方向性や期待することについて、ご意見をいただきたい。**